



「組合の人たちは温かいですね！」未加入者の声を胸に、 労働組合の大切さを広げ、営業職場の強化を目指そう！ ジョブローテーション意見交換会【営業編】開催！！



12月7日、ジョブローテーション施策で運車職場から営業職場へ異動した仲間を対象に「ジョブローテーション意見交換会」を開催しました。異動前と異動先での不安だったこと、適性検査のあり方、教育面の問題、職場の問題点、未加入者との関わりなど、様々な視点から活発な意見が出されました。

人間味のかけらもない会社の異動態勢

- ・「異動のメリットは、エルダーになったら楽になる」と言われ全く理解も納得も出来なかった。
- ・異動の目的を聞いても、一切語られなかった。
- ・「希望が叶う人は少ない」と言われた。自己申告書の面談や施策の目的はどこへいったのか。

経済面・生活スタイルに多大な影響を及ぼしている

- ・乗務員の時より月平均5万円以上も収入減。
- ・「基本給は変わらない」という会社の言い分に怒り。
- ・乗務員勤務だからこそ出来ていた子供の送り迎えが出来なくなった。

教育面でも課題が山積している！

- ・制度を知らない自分に、処理の仕方だけしか教えてくれないので、腹落ちしない。
- ・一本になった直後の自分に、すぐ新入社員が見習いに付いた。戸惑いしかない。
- ・緊急事態宣言下でお客さまが少ない時期に見習いにつき、一本立ち後に宣言解除。今の方が不安。
- ・師匠や駅によって教え方が異なっている。営トレ教育や資料などをもっと充実させるべき。

印象操作で差別的発言も明らかに！

- ・若手が駅長に「あの人はやる気ないから、そんな人を教えてモチベーション下げないで」と言われていた。

適性検査について会社の姿勢に怒り！

- ・適性検査を受けたくても「今の業務に必要な」と管理者が言い放った。
- ・希望者がしっかりと受けるという意思表示と、それを仲間が支えることが大切。

モノ言えない駅職場がつくられ、

若手を中心に不安と不満が渦巻いている！

- ・担務変更が現場長の独断によって決められている。
- ・乗客のスキルを維持する約束が守られていない。
- ・本人希望と真逆の担務変更で、職場の雰囲気重い。

駅ならではの課題も続々！

- ・お客さまや酔客対応も増え、コロナの感染リスクが上がっている。
- ・多能化の対象となっている社員も、久しぶりの担務に苦戦している。営業と輸送を混ぜるべきではない。

輸送サービス労組だからこそ仲間の大切さを実感！

- ・差し入れを受けると若手が「組合の人たちは温かいですね！」と驚いている。
- ・仲間が出迎えてくれたことがとても支えになった。
- ・離ればなれになっても、こういった集まる場があることで不安の解消につながる。
- ・自分が営業職場に行ったからこそ、改めて思う。ジョブローテーションには反対！

安全とサービスのレベルを低下させ、労組破壊を目論む人事施策には断固反対！
差別のない、安心して働ける職場を、輸送サービス労組の手で作りだそう！